

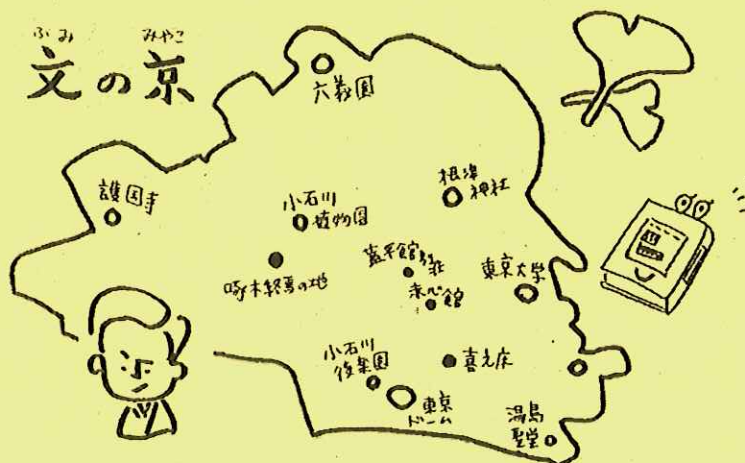
ぶんきょうく

啄木の暮らした文京区



啄木が暮らした喜之床 (本郷区弓町)

石川啄木(1886-1912)が晩年を過ごした東京の本郷区と小石川区(現在の文京区)。明治45年4月に亡くなるまでの約4年をここで暮らしました。小石川区久堅町は、啄木終焉の地としても知られています。金田一京助との下宿生活、歌集『一握の砂』の発行、妻の家出や自身の病気など波乱に満ちた東京時代をたどりながら、現在文京区に訪ねることができる啄木のあしあとを紹介します。



日時：2019年 10月20日(日) 13:30~15:00

場所：渋民公民館(渋民字鶴塚) 2F 大会議室

講師：石川啄木記念館主任学芸員 ささき ゆきこ 佐々木裕貴子

定員：50名 参加費：無料

※当日直接会場にお越しください。

●企画展「啄木と文の京」

2020年1月19日(日)まで開催 ※要入館料

●企画展ギャラリートーク

2019年10月27日(日)、11月24日(日)、
12月21日(土) 各日14:00~14:30

※要入館料

【お問い合わせ】

(公財)盛岡市文化振興事業団 石川啄木記念館
〒028-4132 岩手県盛岡市渋民字渋民9
TEL 019-683-2315

